

大阪府市規制改革委員会  
「取り上げるテーマの提案」

平成 25 年 7 月 19 日

委員 小幡 寛子

I 検討の視点

「楽しさの増進」をキーワードとして、「大阪の活性化」「民間の活動促進」につながるもの

II 検討の経過

1. 第 1 段階 ～切り口を考える～

- (1) 年代別（こども、子育て世代、若者、シニア、男性、女性）など
- (2) 大阪の課題：企業の減少、人口の減少⇒目標：①企業が集まる、②人が集まる
  - ①企業が集まる ⇒ 中小企業支援（Bゾーン）
  - ②人が集まる ⇒ 大阪の魅力アップ

2. 第 2 段階 ～視点に沿ったテーマの検討、絞り込み～

- (1) 子育て・少子化対策 ⇒子育て世代への支援 ⇒大阪に人が集まることが期待できる。
- (2) シニアの活力を社会に ⇒社会の活性化 ⇒シルバー人材センター、シニアに対する職業紹介所などがあり、社会との関係強化を支援している。
- (3) 企業が集まる ⇒中小企業支援 ⇒Bゾーンで規制改革を進めていく
- (4) 人が集まる ⇒大阪の魅力アップ ⇒大阪の特色を考える（①観光、②食文化など）
  - ①観光：観光客（海外、国内）の増加については、都市観光局ほか多くの団体が取り組んでいる。取り上げる場合は、これら団体と違った視点や方法が必要。  
また、観光ボランティアも「大阪観光ボランティアガイド協会」ほか多くの団体が取り組んでいる。
  - ②食文化：ミシュランガイドのようなものがないか？ あるいは、粉もの以外に大阪には各国の食が集まっていることを売りにできないか？  
⇒しかし、大阪人が大阪のレストランのランク付けをすべきではないのでは。  
また、レストラン紹介は多くのグルメガイドが行っている。それらと異なった特徴を出すアイデアは持ち合わせていない。  
⇒◆7月28日に、道頓堀角座を中核とした「角座広場」がオープン（お笑いと食）  
◆フェスティバルゲート跡に「韓流テーマパーク」建設し、韓国料理、コンサートやイベントを企画（来年秋オープン予定）。  
このように、民間企業が地域活性化のために力をいれている。自治体は、これら民間を支援する方策を考えるべき。

### Ⅲ 提案 ～具体のテーマを考える～

- (1) O S A K A旅めがねの拡充
- (2) 日曜日の御堂筋歩行者天国、地下鉄乗車割引
- (3) 自転車市民レースの開催
- (4) 子どもがイキイキと育つ街づくり（子育て支援強化）

#### (1) O S A K A旅めがねツアーの拡充

O S A K A旅めがねのツアーは、地域密着型で地域の暮らしを紹介するといった他の旅行会社のツアーとは違った特徴を持っています。しかし、大阪市内で定番ツアーのコースが設定されているものの回数は少なく、また、堺、大東ほか近隣地域のツアーは特定の日しか設定がありません。

このような地域密着型ツアーの企画・運営できる人材を育て、大阪市内だけでなく、府下の各市町村に拡大していくことで、大阪内外の方々に素晴らしい大阪を紹介でき、かつ地域活性化につながることを期待できます。

（「O S A K A旅めがね」のコンセプト）

<b>ほんまもの 大阪ツアー</b>	<b>地域 活性化</b>	<b>プロの 案内人</b>
従来の「コテコテ大阪」だけでなく、地域の暮らしに根差した本物の魅力や物語を通じて、リアルで新鮮な大阪のイメージを作ります。	大阪人自らがわがまちの魅力を発見し、外からの来訪者とふれあう仕組みを構築することで、持続可能な観光集客と郷土愛育みの循環をつくりま	エリアクルー（まち案内人）は、国内旅程管理主任者の資格を取得したプロのガイドです。独自の研修を重ね、名物案内人を排出します。

（定番ツアー）中之島エリア、福島エリア、寺町エリア、大正エリア、野田エリア、空堀・松屋町エリア、新世界エリア、北船場エリア、鶴橋・桃谷エリア、道頓堀・難波エリア、京橋エリア、天満エリア、くいだおれツアー

HP <http://www.tabimegane.com/>

（体験談）私は、「福島エリア」と「東横堀川」に参加しました。どちらも、大阪を再発見でき、とても楽しかったです。東横堀川コース（東横堀川を小舟で下る）は定番ツアーにないようですが、もう一度行ってみたいです。

大阪府、大阪市との関係

目的：①公共のHPで大阪人の知らない大阪を紹介し、

- ②大阪人が大阪の魅力を再発見し、
- ③他府県や海外に大阪をアピールする
- ④他府県や海外からのリピーターを増やす

規制との関係：大阪府、大阪市、大阪観光局などのHPの活用

- 多彩なモデルコース紹介
- 観光コースを設定している旅行会社へのリンク
- 観光タクシー、レンタサイクルの紹介及び民間企業HPへのリンク

(観光タクシーやレンタサイクルの紹介は、東京都や京都市で実施しています)

## (2) 日曜日の御堂筋歩行者天国、地下鉄乗車割引

休日にキタだけではなく、大阪市内で人が移動しやすくするため、

ミナミを応援するために、

- ・日曜日に、地下鉄の乗車割引を行う。例えば3割引き
- ・日曜日に、御堂筋を歩行者天国にする。例えば心齋橋から難波の間

大阪のキタは、グランフロント大阪のまちびらき、阪急百貨店の規模拡大等々で、活気を取り戻しつつあるようです。また、阿倍野地域は、あべのハルカス一部開業（来春全開業予定）で、期待以上に来場者が増えているようです。

これに対してミナミは、7月の「角座広場」のオープンがあり、地元の人々が地域活性化に努力を続けていますが、まだまだ話題が少ないように思います。大阪市内は、やはり、キタ、ミナミ、あべのなど中心街が活気にあふれていなければ全体が沈んでしまいます。

民間の努力を公が支援する意味で、上記のことを提案します。

(参考資料) 特にありません。

角座広場のHPは下記

<http://www.kadoza.jp/dotonbori/news/2013/07/001754.php>

## (3) 自転車市民レースの開催

大阪マラソンは今年3回目を迎え、参加は抽選になるほど人気となっています。マラソン人口は年々増加しているようです。

市民が参加できるもうひとつのスポーツイベントとして、子どもからシニアまで参加できる「自転車市民レース」はできないものでしょうか。自転車愛好家も多いと思われませんが、都心での自転車レースの開催はあまりないようです。同時に、楽しく自転車のマナーの啓発ができればなお良いですね。

また、郊外の自転車ロードレースも楽しいのでは。

<自転車雑誌サイクルスポーツのレース&イベント>

[http://www.cyclesports.jp/race-event\\_calendar/](http://www.cyclesports.jp/race-event_calendar/)

<TOKYO Ride KYOTO Ride>

東京や京都では、ご当地グルメと合わせたイベントをやっているようです。

<http://great-earth.jp/index.php>

<奥河内 SEA TO SUMMIT>

河内長野では、「カヤック→自転車→登山」のレースをやっています。

[http://www.cyclesports.jp/race-event\\_calendar/detail.php?page=0&id=3024&kw=&dateSelect=201311&prefectureSelect=&eventSelect=&action=list](http://www.cyclesports.jp/race-event_calendar/detail.php?page=0&id=3024&kw=&dateSelect=201311&prefectureSelect=&eventSelect=&action=list)

<サイクルライン 万博から箕面の滝>

大阪には、自転車ロードが数か所あるようです。万博から箕面などは魅力があるのでは。

<http://www.cyclesports.jp/courseguide/cyclingguide/017/index.html>

#### (4)子どもがイキイキと育つ街づくり（子育て支援の強化）

上記(1)～(3)は、観光やイベント系ですが、大阪の将来に向けた成長を考えますと、最重要テーマは「子どもの健やかな成長」と「女性が働きやすい環境づくり」です。

国も少子化危機については緊急に対策すべしとしています。そして、多くの課題を取り上げ、改善取組を行うべきとしています。緊急対策の「3本の矢」として「1. 子育て支援の強化」「2. 働き方改革」「3. 結婚・妊娠・出産支援」を掲げ、その取組を掲げています。

これらはすべて重要ですが、やはり、「1. 子育て支援の強化」がより緊急性が高いと考えます。若い方の要望も、「子ども手当や教育費のサポート」「託児施設の拡充」が多いようです。国との関係もありますが、大阪府・市には、ぜひ革新的に取り組んでいただきたいテーマです。

その例としては、次のようなものがあります。

- ・待機児童ゼロ作戦（保育施設の充実）
- ・病児保育
  - <ノーベル> <http://nponobel.jp/>
  - <マザーネット> <http://www.carifami.com/>
- ・また、教育費のサポートができれば良いのですが・・・

#### <追加>

課題：・待機児童が多い。

- ・夜間保育、病児保育が少ない。これらに規制はないが、増えない原因は、事業者に競争がないから？

規制との関係：

- ①大阪市は、平成 26 年度から保育所に株式会社の参入が決まったようです。しかし、株式会社に対して施設整備補助がないのは、国からの補助がないためでしょうか？ 社会福祉法人に対するのと同様に、株式会社に対しても行うよう国に働きかけるべきと思います。
- ②大阪市の保育所は認可保育所のみ。認可外保育所（駅前など便利な場所における小規模保育所）を認めていくべきでは。財政の問題があつてのことのようですが、国も、「待機児童解消加速化プラン」を打ち出している現状なので、国に、大都市について、規制緩和と国庫支出を求めていくべきでは。